



地域学校協働本部だより

令和5年2月1日発行 NO.14
港区立赤羽小学校 校長 中村 美奈子
地域コーディネーター 石川 啓子
月井 洋次
地域学校協働本部担当 見目 純一
大谷 俊貴

2月の玄関装飾

寒さがさらに厳しい毎日ですが、子供たちは毎日元気に学校生活を過ごしています。大寒も過ぎ、暦の上では立春まであと少しです。1月もあっという間に終わり、2月を迎えます。

今回の玄関装飾は節分をテーマにして掲示していただきました。節分は「季節を分ける」という意味があります。昔の日本では、春は1年の始まりとされ、その前日を節分と言い、今の大晦日のような日でした。

新校舎もいよいよ完成が近づいてきました。旧校舎で過ごす時間もあとわずかです。最後まで今の校舎でたくさんの思い出を作ってほしいと思います。



数日來の寒波のせいで、日本中が大雪や「風が刺さるように痛いですね」の言葉が聞かれます。そんな中で、玄関装飾をしてくださる方々は、冬休みの中でも次の装飾、その次のイメージを伝え合い、試作を共有しながら、「みなさんは喜んでくださるかしら？」と創作されています。貼り換えをしていると、皆さんからの「わぁー」という声が励みになります。

そろそろ学年の終わりに近づいてきました。6年生は小学生を終えますね。保護者の皆さまもこの1年やこの6年を振り返って、お子さんやご自身が楽しかった時のことや良かった時のことを思い出して、それはどうしてそう思えたのかを一緒に話されてはどうでしょうか。私たちは、お子様のさらなる成長を願っています。私たちの願いのメッセージが届きますように。

※「玄関装飾」に協力していただける方を募集しています。ご興味のある方は、副校長又は地域学校担当、見目・大谷までお電話ください。